



報道関係者各位

令和7年4月9日

青森県立保健大学

多文化共生社会を支える 「グローバルヘルスプログラム」がスタートしました

1. 概要

青森県も多文化共生を推進しているが、そのような社会を支えるために、本プログラムは Global な広い視野をもち、Diversity & Inclusion の理念の下に、様々な場においてヒューマンケア（地域の外国人支援を含む）を実践し、未来を創造できる人材を育成することを目的としています。

本学の新カリキュラムで新設・拡充した科目（多様性や共生社会、国際的な専門分野を学ぶ科目、語学等）と海外研修等（アメリカ Villanova 大学、ベトナム Nam Dinh 看護大学、イギリスやオーストラリアの Study Abroad 等）を組合せて、所定の4年間のプログラムを修了した学生を「グローバルヘルスプログラム修了生」として認定します。

令和7年から学部の新たな教育プログラムとしてスタートし、海外の言語や文化を学び、外国の保健および医療・福祉の現状を知る機会を得て、専門職として国際的な視点をもって青森県や地域の外国人を支援できる能力を修得することを目指しています。

2. 特別記念講演会

わが国の「母子健康手帳」を海外に広めて大きな成果を挙げるなど、インドネシアやアフガニスタンなどで保健医療活動に取り組み、長年、国際保健・医療協力分野を牽引されている中村安秀教授（大阪大学名誉教授・日本 WHO 協会理事長）に、本プログラムのキックオフとして、「Think Globally, Act Locally の世界観」を語っていただきます。国際的な視野から将来活躍したいと思っている高校生の参加もお待ちしています。

日時：R7年6月28日（土）、13時00分から14時30分

会場：青森県立保健大学

※参加方法等は、今後大学ホームページ等からお知らせします。

問い合わせ*****

青森県立保健大学

TEL:017-765-2009 FAX:017-765-2688

担当：経営企画室 伊藤（国際交流担当）
